

令和5年度 園児事故報告について

園内でのケガ等（病院へかかる）の件数 計8件

●R4年度から看護師を配置。怪我・体調不良時など対応している。

・顔（頬）擦り傷

発生場所 園庭
事故の種類 擦り傷
対応 鬼ごっこをしていて転倒してしまう。頬に擦り傷が出来てしまい洗浄をし冷やす。保護者に経過を伝え様子を見ていただく。ご家庭の判断で後日病院を受診し、頬を保護し日に当たらないようにするなど対応をしていく。
今後の対応 怪我の把握・経過を家庭と連携して対応出来るように職員間の連携を強化していく。
※同様なケースが1件。

・脱臼

発生場所 保育室
事故の種類 右肘を脱臼する
対応 向かい合わせに座っている友だちに手を引っ張られ痛がる。脱臼しやすいことから保護者に連絡をし病院を受診する。
今後の対応 ふとした子ども行動で起こりうる事を再認識し、子どもたちの行動に十分に注意していく。

・虫刺され

発生場所 保育室
事故の種類 右目の虫刺され
対応 身支度の時に急に目を痛がりこする様子がある。目を洗浄し様子を見ると目をこすった為か赤みと充血が見られ保護者に伝え病院を受診して頂く。
今後の対応 保育室・戸外など活動前に危険でないかしっかり確認し、必要に応じて対応していく。また、虫にさされやすい子には虫よけスプレーなどの対策を検討する。
※同様なケースが他1件。

・噛みつき

発生場所 保育室
事故の種類 右頬に噛みつき
対応 保育室に帰る際、並ぶ順番の取り合いで友だちとトラブルになり右頬を噛まれてしまう。右頬を流水で流し、冷やして様子を見る。翌日傷が出来ていたため病院を受診する。傷を保護して経過を見ていく。
今後の対応 トラブルの様子にすぐ対応出来るように子ども達の様子に十分目配りしていく。

・骨折

発生場所 園庭

事故の種類 右肘

対応 園庭から保育室に帰る際つまずいて肘を曲げた状態で転倒する。痛みがあり看護師に診てもらい病院受診を判断する。レントゲンをとり、ギブスを装着し経過を見ていく。

今後の対応 転倒や子ども同士ぶつかる事もあるので、予想しながら言葉掛けや対応を十分に想定して対応出来る様にしていく。

・打撲

発生場所 なんなんホール

事故の種類 右肘打撲

対応 遊戯練習の時に友だちとぶつかり転倒した際、右肘をうつ。患部を冷やし様子を見る。痛みなども落ち着いて降園するが、夜痛みが出始め、あざが診られたため病院を受診し打撲の診断を受ける。

今後の対応 転倒やぶつかりを予想して練習場所や子ども同士の間隔など安全に過ごせる様に考えて環境設定を行う。